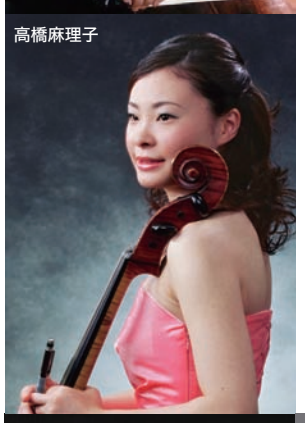
羽村市民一人ひとりの生涯学習を支援する情報誌

ゆとろぎ通信 Vol.6

2009年9月1日発行
通巻14号

■発行：羽村市教育委員会　■企画・編集：羽村市生涯学習センターゆとろぎ／ゆとろぎ協働事業運営市民の会

丸山泰雄


高橋麻理子

灘尾彩

海野幹雄

ゆとろぎライブ

チェロ三味（ざんまい）

「チェロをじっくり聴いてみたい」「チェロの癒しの音色を聴きたい」そんなご要望にお応えして、国内海外で活躍中の4人のチェリスト、丸山泰雄・高橋麻理子・灘尾彩・海野幹雄の各氏を招聘して、卓越した技巧と絶妙のアンサンブルでチェロの魅力をたっぷりとお届けします。深まり行く秋の日の午後、ゆとろぎでチェロの音色にどっぷりと浸ってみるのも、また一興かもしれません。

＜主な演奏曲＞美しく青きドナウ（J・シュトラウス）、無伴奏チェロ組曲第1番よりプレリュード（J・S・バッハ）、2本のチェロのためのファンタジア（パガニーニ）、3本のチェロのためのディヴェルティメント（ハイドン）、ハンガリー舞曲第5番（ブラームス）、トゥナイト（バーンスタイン）、リベルタンゴ（ピアソラ）、プリーズ・プリーズ・ミー～オブラディ・オブラダ！（ビートルズ）、ロココの主題による変奏曲（チャイコフスキー）など。（曲目は当日に変更される場合があります）

10/4（日）

開場 14：30／開演 15：00
ゆとろぎ大ホール（全席指定）
（前売り）　一般　1,000円
　　高校生以下　500円
（当日売り）一般　1,500円
※未就学児の入場はできません。
ゆ ス マ に 保

ゆとろぎで行う羽村市教育委員会主催のコンサートのチケットは下記で取り扱っています。

ゆ　ゆとろぎチケットカウンター
9：00～17：00（月曜日休館）
☎042-570-0707

ス　羽村市スポーツセンター
9：00～17：00（月曜日休館）
☎042-555-0033

マ　マルフジ青梅・羽村・福生市内
10店舗のサービスカウンター

に　西多摩新聞社チケットサービス
☎フリーダイヤル 0120-61-3737

保　マークのイベントには「一時保育」（有料・要予約）があります。

※各コンサートに関するお問合せまたは「一時保育」の申込み・お問合せは、ゆとろぎ　☎042-570-0707へどうぞ。

宝くじ文化公演

グレン・ミラーオーケストラ演奏会

11/26（木）

開場 18：00／開演 18：30
ゆとろぎ大ホール（全席指定）
一般　2,500円
高校生以下　1,500円
※未就学児の入場はできません。
ゆ ス マ に 保

中高年世代には懐かしく、若い世代には新鮮なミラーサウンドがゆとろぎにやってきます。『ムーンライト・セレナーデ』や『茶色の小瓶』『真珠の首飾り』などの名曲は、今でも色あせることなくスタンダードナンバーとして私たちの心に響きます。

「宝くじ文化公演」は、（財）自治総合センターが地域振興と宝くじの普及広報をはかる文化事業の一つとして行っているもので、チケット料金も特別価格で提供されています。ゆとろぎでは07年に開催したレニングラード国立バレエ団の公演も「宝くじ文化公演」として実施しました。

名曲の贈り物

国立音楽大学ブラスオルケスター演奏会

9/26（土）

開場 13：00／開演 13：30
ゆとろぎ大ホール（全席指定）
一般　500円
高校生以下　200円
※未就学児の入場はできません。
ゆ に 保

「ブラスオルケスター」とは、金管・木管楽器を中心に編成された吹奏楽団のこと。クラシックの名曲「組曲『惑星』より「木星」」（ホルスト）や『熊ん蜂の飛行』（リムスキー・コルサコフ）のほか、マーチの名曲などブラスならではの軽快な楽曲をお楽しみください。指揮・三浦徹氏、クラリネット独奏・武田忠善氏。主催・（財）青梅佐藤財団、共催・羽村市教育委員会。

連載
私の生涯学習
第9回

中南米の島国、ドミニカ共和国でＪＩＣＡ（独立行政法人国際協力機構）の日系社会青年ボランティアの一員として、日系の子どもたちに日本語を教えていた青柳有佳さんに体験談をうかがった。

青年ボランティアとして活躍する、「子ども」と「教えること」が大好きな

青柳有佳（あおやぎゆか）さん

子どもたちとの格闘

旺盛な好奇心と明るい性格が持ち前の青柳さんは、現地の生活になじむのは早かったが、日本語学校の子どもたちには、少々手こずらされたようだ。

「学校があったラ・ベーガには14家族、ハラバコアには6家族の日系人が住んでいます。1世の方は、移住当初、とても苦労されて、生活をしていくのに手いっぱいだったそうです。2世、3世と代が進むにつれてドミニカ人との交流が進み、日本人の血は薄れているのですね。ドミニカの公用語はスペイン語で、家でも日本語を使わないので、子どもたちにとっては、日本語は外国語になってしまい、学ぶことが面倒くさい、という気持ちがあったようです」

青柳さんは、6歳から17歳までの20人ほどを受け持った。遊び盛りの子どもたちばかりである。学校を休む子もいた。

「まずは、一緒に遊んで打ち解けて話せるようになって、次に、学校に来てもらえるように、好きになってもらえるように、といろいろ工夫しました。トトロの『さんぽ』の替え歌をつくって、「えんぴつ」とか「はさみ」など文房具の名前を歌詞に織り込んで、言葉を覚えさせました。子どもたちは卓球が大好きだったので、休み時間にはいっしょにしました」

2世の親たちも日本語学校にあまり関心を持っていなかった。子どもの送り迎えはしぶしぶやっているように感じた。そこで一計を案じた。普段、日本食を食べる機会がないことを逆手に取って、大人も巻き込んで子どもたちといっしょに「おにぎり」を作った。これが大好評。次第に学校に積極的にかかわってくれるようになった。

日本語学校の授業風景（撮影・村山利夫）

喜ばれて、感激して

1950年代後半、日本の政策としてドミニカ共和国への移民が始まった。249家族が希望に燃えてドミニカに渡ったが、移住後の生活は苦難の連続だった。多くの家族が農業をあきらめて都市へ移ったり、日本へ帰国した。そうした中、なんとか生活基盤を築いた1世の人たちとドミニカで生まれ育った2世、3世との間にことばの溝ができてきた。1世の人たちは、孫の世代が日本語を話すことができるようになることを強く望んでいた。日本語学校にはそうした背景があった。

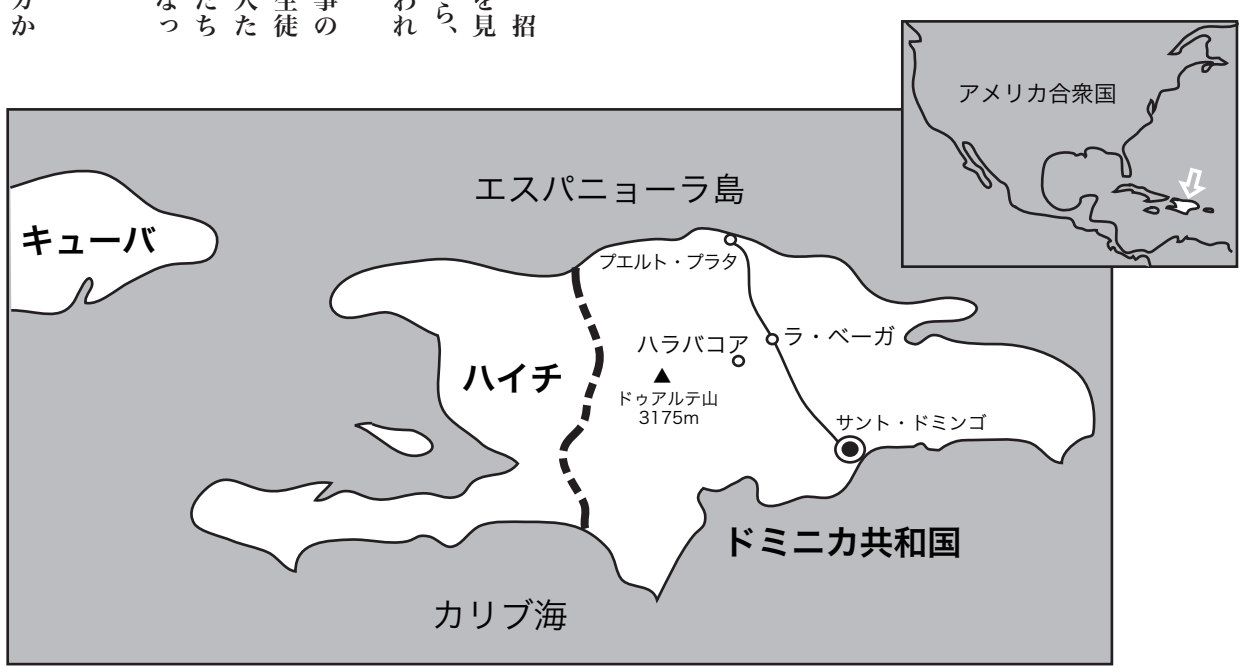
「年に1回、子どもたちの学習発表会として、『お話大会』をしました。習った日本語でスピーチをするのですが、招待した1世の方々の喜んでいる姿を見て、嬉しかったですね。1世の方から、『びしびしやってください』って言われました（笑）」

また、現地の人たちとの交流行事の「日本文化発表会」で、青柳さんの生徒たちが折り紙を披露した。現地の人たちから大きな賞賛を受けて子どもたちの目が輝いたのを見て、胸が熱くなったという。感激屋さんである。

青柳さんは、今年7月にドミニカから日本に帰って来た。長い海外生活でさぞやお疲れでは、と思っていたところ、「ドミニカ共和国へ行く前は、青年海外協力隊としてモロッコの児童館で日本文化を教えていましたし、ＪＩＣＡに参加する以前は、羽村市で日系人の子どもたちを支援する活動に携わっていたので、結局、『子ども』と『教えること』が好きなのでしょうね。特に、人手が足りない、必要とされるところで、日系の子どもたちの支援を続けていければと思います」と元気いっぱいに語ってくれた。このインタビューが誌面に載る頃は、アジアの某国にいるそうだ。

（取材・日下田まや）

※青柳有佳さんをゲストに迎えた『サロンでトーク』を2010年2月に開催の予定。誌面に載せきれなかった貴重なお話を聞く絶好のチャンスです。詳細は次号でお知らせします。



ドミニカ共和国はキューバの東隣、カリブ海に浮かぶエスパニョーラ島の東側３分の２を占める小さな国である。西側のハイチ共和国と国境を接している。面積は九州と高知県を合せたほどだが、そのほぼ中心部には3,175m のドゥアルテ山がある。主食はお米。日本と同じように炊いて食べる。ただ、日本米のようなねばりはなく、パサパサした食感（青柳さん談）。

Gallery

内城葉子 ボタニカルアート展

……はむらの植物たち……

10/8㈭～10/18㈰

10：00～17：00（最終日は 16：00 まで）
ゆとろぎ展示室（入場無料）

内城葉子さん
1949 年、東京都出身。国立科学博物館第２回植物画コンクール文部大臣奨励賞（1986 年）、世界らん展・ボタニカルアート部門ブルーリボン賞（1989 年）、ROYAL HORTICULTURAL SOCIETY ロンドン・フラワーショー (2000・01 年)、同バーミンガム・フラワーショー（04 年）にて Gold Medal、ROYAL HORTICULTURAL SOCIETY ロンドン・フラワーショーにて Silver silt（06 年）など、国内海外で数多く受賞。現在、朝日カルチャー・植物画倶楽部他講師。日本ボタニカル・アート協会会員。多摩市在住。

10 月のゆとろぎギャラリーは、話題の「ボタニカルアート」界をご紹介。原寸大で精密に描かれた植物画は、写真とは違う内城葉子さんの清々しさと生命の豊かさを異次元に伝えてくれます。作品展を前にいま内城葉子さんにお話をうかがった。

作品は精密かつ正確に描かれたイラスト　続けて、写真を超越した一つの芸術として、人の心を引きつける不思議な魅力をもっている。近年、自然環境に対する保護意識の高まりやガーデニングブームとも相まって、ボタニカルアートは多くの人の関心を集めている。

内城葉子さんがボタニカルアートの世界と出会ったのは、ある出版社から植物図鑑の挿絵を依頼されたことがきっかけだった。

気軽に引き受けたものの、描き進めるうちに、植物に関する知識の大切さに気づかされた。最初は、見たままを描けばよいと思っていたが、植物の専門家が見ると「そんな花はない」と。同じタンポポでも生育する環境によって違う。個体差もある。花の構造や特徴を知っていないと正確な絵を描くことができない。

ある日、公園の花壇を覗いてみると、東京にはないはずの花が咲いていた。造園業者が関西の会社で関西以西に生育する花を植えたらしい。人の手によって生態系が少しずつ変わっている。環境や生態系も視野に入れなければいけないことを知った。

植物学を勉強するうちに、それまではただ精密に描くのが植物画だと思っていたが、植物画は広い世界とつながっていた。

仕事の依頼を受けたときは、「ただ色をつければよい」と言われたが、そんな安易な世界ではなかった。植物を観察すればするほど奥が深く、のめり込んで行った。そして、図鑑としての絵ではない、アートとしての美しさも再発見し、植物画に魅了された。

今回の作品展では、羽村市内に生育する植物をモチーフに、新たに描き上げた作品も含めて約50点の作品を展示する。

ボタニカルアートは基本的には「原寸大」で描く。だから作品の多くが小型だが、植物が生きている姿がそこに描かれている。

「普段なにげなく通り過ぎてしまう小さな花も、花を咲かせ実を付け、みな懸命に生きていることを感じてほしい」

内城さんは作品展を通して、それを伝えたいと思っている。

神津善行（こうづよしゆき）音楽文化講座

ゆとろぎ大ホール（全席自由）
入場料　各回大人 2,000 円 ゆ 保

菅原洋一さん

肩肘張らずに音楽を楽しんでいただく文化講座が（財）青梅佐藤財団との共催により10月から始まります。

軽妙なエッセーや飾らない人柄で親しまれている、作曲家の神津善行氏が毎回多彩なゲストをお招きして、そのすばらしい演奏とともに、楽曲や楽器にまつわる裏話やエピソードなど、興味深いお話を聞かせてくれます。講座のスタートにあたって神津氏からメッセージが届きました。

２００９年には３回の予備音楽講座を致します。テレビや一般の演奏会では聞けないような、音楽や音楽の裏側をお話することによって、より楽しい音楽会になると思っております。

10月22日は数々の国際コンクールで優勝している少年演奏家の二人です。技術、音楽性には目を見張るものがあり、きっと皆様は感動なさると思います。バヤンという楽器は当日ゆっくりお話致しますが、ロシア人によって改良された楽器で、その説明をお話してからお聞き頂きたいと思います。ピアノのジーマ君は少年ショパンコンクールで優勝した驚くべき演奏家です。

11月19日はマリインスキー歌劇団のバス歌手とソプラノ歌手を招きました。何故このような歌手を招聘出来るかということも当日お話致しますが、素晴らしい声をご堪能頂きたいと思います。

12月16日は菅原洋一君を招いて、早めのクリスマスをしたいと思います。彼は同級生で親友なので何でも言える仲ですので、皆様の聞きたい曲を歌ってもらおうと思っております。

どうぞこの３回の音楽講座と音楽会をお聞き頂いた上で、来年の「羽村・青梅の音楽講座」をご支持頂けたらこんなに嬉しいことは有りません。どうぞよろしくお願い致します。

神津善行　拝

ということで、クラシックファンだけでなく幅広い音楽ファンの方にも足を運んでいただければと思います。期待がふくらみます。今年度は３回開催しますので、是非、ご参加ください。未就学児の入場はできませんが、一時保育（有料・要予約）があります。

開催日時		テーマ・ゲスト
10/22（木）	開場 13：00 開演 14：00	『ロシア天才少年２名を招いて』 ＜ゲスト＞　イグナット・パスヒンさん（バヤン） ジーマ・シーシキンさん（ピアノ）
11/19（木）		ロシア マリインスキー歌劇団所属歌手を招いて ＜ゲスト＞　ミハイル・コレリシビリさん（バス） ラリーサ・エリナさん（コロラティーアソプラノ） 鎌田しのぶさん（ピアノ）
12/16（水）		歌手生活 50 周年を迎えた菅原洋一さんを招いて ＜ゲスト＞　菅原洋一さん 山下　淳さん（ピアノ）

ラリーサ・エリナさん

ロシア連邦ニージニー・ノヴゴロド州ゼルジンスク生まれ。ニージニー・ノヴゴロド国立音楽院卒業。2000 年よりマリインスキー劇場付属マリインスキー・アカデミーのソリストとなり、ラリーサ・ゲルギエワ、マティ・パーム、イングリッド・クレムリン各氏に師事。2004 年、若手声楽家のための第 13 回ボリス・クリストフ国際コンクール (ブルガリア）で最優秀賞受賞。

ミハイル・コレリシビリさん

グルジア、トビリシの国立サラジシビリ音楽院卒。2002 年よりロシア、サンクト・ペテルブルグのマリインスキー劇場アカデミーのソリストとして、また、2005 年よりヨーロッパ、アメリカでも広く活躍中。

イグナット・パスヒンさん

1992 年 3 月 14 日、ノヴゴロド州ノヴゴロド地区リピツァ村生まれ。1998 年、ヴォレイ村の音楽学校の予備科、イワノワのバヤンクラスに入る。2004 年よりラフマニノフ記念ノヴゴロド芸術大学の養成所の名誉芸術家アナトーリ・ミハイロビッチ・パブロフのクラスに学ぶ。全ロシア、国際コンクールで多くの受賞歴がある。

ジーマ・シーシキンさん

1992 年 2 月 12 日、シベリアのウラン・ウデ市に生まれる。３歳のころより音楽を始める。３歳半で最初の独奏会を開く。４歳でチェリャビンスク市のチャイコフスキー記念音楽専門学校初等科に入学。６歳で初めてオーケストラと共演。2001 年グネーシン記念モスクワ音楽専門学校中等科（カレッジ）に入学、ロシア功労芸術家ホフロフ教授のクラスで学ぶ。現在、同校の９年組に在学中。

多摩・島しょ子ども体験塾　第７ブロック共同事業

オドロキ！ロボットの世界

ASIMOが街にやって来る!!

10/3(土)

＜３回の公演を行います＞
①開場 10：00・開演 10：30
②開場 12：30・開演 13：00
③開場 15：00・開演 15：30
各回定員 600 名
ゆとろぎ大ホール（入場無料）
※未就学児の入場はできません。

歩く、お辞儀をする、手を振る、など最も人間に近いロボットといわれる ASIMO（アシモ）がゆとろぎで、子どもたちに楽しいデモンストレーションを見せてくれます。また、ロボットに関する最新のお話や「ロボットクイズ大会」など、好奇心をくすぐるイベントが盛りだくさんに用意されています。家族揃ってゆとろぎにレッツ・ゴー！

観覧を希望する方は「往復ハガキ」に以下の内容を記入の上、お送りください。参加希望者多数の場合は抽選を行います。
①希望日時・回と会場
②代表者（保護者同伴希望の場合は保護者）の氏名・郵便番号・住所・電話番号
③参加希望者全員の氏名・学年
＜送り先＞
〒 156-0043　世田谷区松原 3-40-7　４階
（株）ヴォトール内「子ども体験塾第７ブロック事業　お天気教室」係

主催：多摩・島しょ子ども体験塾 第７ブロック共同事業実行委員会
＜問合せ＞多摩・島しょ子ども体験塾 第７ブロック共同事業実行委員会 事務局　☎ 03-5301-0946

劇団プーク人形劇

ちびっこカムのぼうけん

12/23(水・祝)

開場 14：00 ／開演 14：30
ゆとろぎ大ホール（全席指定）
（前売り・当日売り共通）
一般　2,500 円
子ども（３歳～高校生）1,500 円
グループ割引（10 枚以上同時購入）１人 500 円引

ゆ ス マ に 保

火の山のふもとには、とっても元気のいい男の子、カムが病気の母親といっしょに暮らしていました。ある日、カムはどんな病気でも治すという「イノチノクサ」が火の山にあると聞き、母親の病気を治すために、トナカイのプルガとともに火の山に向かいます。けれどもそこは、巨人ガムリイが住むという恐ろしい伝説の山。そればかりか、「イノチノクサ」を見つけるには、ガムリイが持っている金の指輪が必要だというのです。カムは森の動物たちの力を借りて、ガムリイに戦いを挑みます……。
（上演時間 1 時間 45 分（途中休憩 15 分））
※０歳～３歳未満の乳幼児は保護者のひざの上でしたら無料でご覧になれます。

2009 ゆとろぎ子どもフェスティバル

おいでよ！ゆとろぎの森へ

11/14(土)～15(日)

10：00 ～ 15：00　ゆとろぎ交流広場ほか

今年も『ゆとろぎ子どもフェスティバル』がやってきます。ゆとろぎの全館が、「体験のひろば」「あそびのひろば」「パフォーマンス」など、お楽しみいっぱいの遊びの森に大ヘンシ～ンします！

「体験のひろば」では、羽村高校の茶道部・華道部のみなさんがお抹茶をたててくれたり、生け花を教えてくれます。科学や工作の好きな子には、「科学あそび」と「工作教室」「森の工作室」がお薦めです。劇団プークの「人形作り講座」もあります。

「あそびのひろば」では、大人気の「お化け屋敷」や「シャボン玉あそび」「ぬりえあそび」など、小さなお子さんも楽しめるイベントが盛りだくさんです。

この他、「コマまわし」や「ジャグリング」などの大道芸もあります。家族揃ってゆとろぎでいっぱい遊んでください。

イベントは変更になる場合もあります。また、参加料が必要なものもあります。詳しくは、チラシ・ポスターなどをご覧ください。

	イベント（予定）
体験のひろば	お茶会
	生け花教室
	科学あそび
	工作教室
	プーク人形作り講座
	森の工作室
	ロバの音楽座音楽教室
あそびのひろば	お化け屋敷
	ぬりえあそび
	森の探検あそび
	シャボン玉あそび
	木漏れ日サロン
	子ども映画会
パフォーマンスほか	コマのたけちゃん
	KOMEI のミラクルジャグリング
	さくらんぼ保育体験
	リスの食卓
	プーク展

ゆとろぎで行う羽村市教育委員会主催の事業のほか、市内の公共団体が主催するイベントや社会教育関係団体の情報をお届けします。羽村市教育委員会が主催するコンサートのチケットは下記で取り扱っています。

ゆ ゆとろぎチケットカウンター（月曜日休館）9：00～17：00
☎042-570-0707

ス 羽村市スポーツセンター（月曜日休館）9：00～17：00
☎042-555-0033

マ マルフジ青梅・羽村・福生市内
10店舗のサービスカウンター

に 西多摩新聞社チケットサービス
☎フリーダイヤル0120-61-3737

※コンサートあるいは「一時保育（有料・要予約）」の申込み・問合せは、ゆとろぎへどうぞ。
※各イベントに関する問合せは、各主催者へお願いします。

ゆとろぎ

■芸術鑑賞

◆国立音楽大学ブラスオルケスター演奏会（p.1参照）
9／26（土）、開場午後1時・開演午後1時30分。ゆとろぎ大ホール（全席指定）。一般500円、高校生以下200円。未就学児の入場はできません。一時保育あり（有料・要予約）。

●ゆとろぎライブ　チェロ三昧（p.1参照）
10／4（日）、開場午後2時30分・開演午後3時。ゆとろぎ大ホール（全席指定）。〔出演〕丸山泰雄・高橋麻理子・灘尾彩・海野幹雄さん。〈前売り〉一般1000円、高校生以下500円。〈当日売り〉一般1500円。未就学児の入場はできません。一時保育あり（有料・要予約）。

●宝くじ文化公演（p.1参照）
グレン・ミラーオーケストラ演奏会
11／26（木）、開場午後6時・開演午後6時30分。ゆとろぎ大ホール（全席指定）。〈前売り〉一般2500円、高校生以下1500円。未就学児の入場はできません。一時保育あり（有料・要予約）。

●劇団プーク公演（p.5参照）
人形劇「ちびっこカムのぼうけん」
12／23（水・祝）、開場午後2時・開演午後2時30分。ゆとろぎ大ホール（全席指定）。〈前売り・当日売りともに〉一般2500円、3歳～高校生1500円。グループ（10枚以上同時購入）1人500円引。一時保育あり（有料・要予約）。

●子ども映画会
いずれも入場無料。上映作品は変更する場合があります。
○9／13（日）、午前10時30分～11時30分。ゆとろぎ小ホール。『さるかに合戦』『草原の子テングリ』『浦島太郎』『ネズミさんのおんがえし』
○10／4（日）、午前10時30分～11時30分。講座室1。『どんぐりと山猫』『空とぶ宝箱』『チップとタップもぐらをつかまえろの巻』『金の耳かざり』
○11／15（日）、午前10時30分～11時30分。ゆとろぎ小ホール。『泣いた赤おに』『セロひきのゴーシュ』『美しいさいごのひと葉』『ピーターとうさぎの　ぼうけん』
○12／13（日）、午前10時30分～11時30分。講座室1。『赤毛のアン　クリスマスのコンサート』『ミッキーマウスとゆかいななかまたち』『しっぽのつり』『雪になった星』

◆神津善行　音楽文化講座（p.4参照）
○第1回『ロシアの天才少年2名を招いて』　10／22（木）、午後2時～4時。ゆとろぎ大ホール。〔ゲスト〕イグナット・パスヒンさん（バヤン）、ジーマ・シーシキンさん（ピアノ）。入場料2000円（全席自由）。
○第2回『ロシアマリインスキー歌劇団所属歌手を招いて』　11／19（木）、午後2時～4時。ゆとろぎ大ホール。〔ゲスト〕ラリーサ・エレナさん（コロラティーアソプラノ）、ミハイル・コレリシビリさん（バス）。ピアノ伴奏鎌田しのぶさん。入場料2000円（全席自由）。
○第3回『歌手生活50周年を迎えた菅原洋一さんを招いて』　12／16（水）、午後2時～4時。ゆとろぎ大ホール。〔ゲスト〕菅原洋一さん、ピアノ伴奏山下淳さん。入場料2000円（全席自由）。主催・（財）青梅佐藤財団／共催・羽村市教育委員会／協力・ゆとろぎ協働市民の会

■ギャラリー

●内城葉子ボタニカルアート展（p.3参照）
10／8（木）～18日（日）、午前10時～午後5時（最終日は午後4時まで）。ゆとろぎ展示室。入場無料。

■講座・教室

●撮った後も楽しもう！デジタルビデオ・DVD・写真活用（全3回）
10／18（日）・11／22（日）・12／19（土）、午後1時30分～午後4時30分。講座室2。受講料2400円（全3回分）。受講希望者は往復ハガキでゆとろぎへ。締切10／4（日）。

●映画『bloom～生まれたのは私』上映会&交流会
11／10（火）と2／2（火）、どちらも午前10時～12時。講座室1。無料。妊娠・出産・子育ての経験についてのさまざまな気持ちを分かち合います。共催・羽村市子育て支援課。申込みは、9／16（水）、午前9時から☎または直接ゆとろぎへ。

●楽しく創る短歌入門（全6回）
11／12・26、12／10・24、1／14・28（木）、午後2時～午後4時。講座室2。受講料3000円（全6回分）。受講希望者は往復ハガキでゆとろぎへ。締切10／29（木）。

●子育て中のお母さんのための講座 No.3『絵付けでmy食器』（全2回）
12／4・18（金）、午前10時～12時。創作室3。子育てに忙しいお母さん、白いお皿に「絵付け」で家族の食器を作ってみませんか。定員15名。受講料1500円（全2回分）。一時保育あり（有料・要予約）。受講希望者は往復ハガキでゆとろぎへ。締切11／20（金）。

市民イベント

市民団体・グループが主催するイベントをご紹介します。イベントの内容や一時保育については各問合せ先にご確認ください。

■唄い継ぐ親子の絆 in 西多摩 山本シュウさん講演会 シンポジウムとコンサート
9／23（水）、午後2時～4時、ゆとろぎ小ホール。入場料1000円。子守唄は唄い継ぐ地域の財産。子育てに関する講演とシンポジウム、子守唄コンサート。（問合せ）アクセルオート・菊池☎042-539-3979

■パソコン講座
○word応用　10／2・9・16（金）
○年賀状作成　11／11・18・25（水）
○wordによるイラスト作成　12／4・11・18・25（金）
いずれも午前クラスか午後クラスのどちらかを選択。ゆとろぎ講座室2。（問合せ）並木☎042-555-1489

■市民プロジェクト21 交流ひろば「何が違うの？社会教育と生涯学習」
10／3日（土）午前10時～12時。ゆとろぎ講座室2。参加費無料。（問合せ）堀☎090-2257-0933

■第13回薫風会水墨画会
12／18（金）～20（日）、18日は午後1時～5時、19日は午前10時～午後5時、20日は午前10時～午後4時まで。ゆとろぎ展示室。講師と会員10名の水墨画作品を展示。入場無料。（問合せ）森☎042-554-4557

生涯学習関連団体

羽村市の諸機関や公共団体が主催する生涯学習に関係するイベントをご紹介します。イベントの内容については、各問合せ先にご確認ください。

■社会福祉協議会

■ふれあい福祉まつり
10／18（日）、午前10時～午後3時。羽村市福祉センター。入場無料。（問合せ）福祉センター☎042-554-0304

■はむすぽ

■フラワーアレンジメント　9／26（土）午前10時～12時。会員1500円・ビジター2000円。スポーツセンター

■とん汁とスモークチキン作り　10／25（日）、午前10時～午後2時。〔親子〕会員2000円・ビジター2500円。堰下レクリエーション広場

■第2回はむすぽ祭（スポーツ体験等）
10／31（土）、午前9時30分～12時。無料。スポーツセンター

■開催中の事業…アクア&スイム、書道教室、スポーツ体験塾、ハタ・ヨーガ、はつらつ体操、ベビーマッサージ&ママビクス、ボクササイズ、夜のスイミング教室

□**募集中**①会員…仲間づくり、健康づくりができます。会員特典もあります。②スタッフ…あなたの力を地域で活かしませんか。（問合せ）はむら総合型スポーツクラブはむすぽ事務局☎042-519-5712（火曜日午後1時～3時、木・土曜日午前10時～12時）

■羽村市文化協会

羽村市文化協会は、平成17年6月に、(1)羽村市の芸術・文化を振興すること (2)市内の文化団体等の相互の連絡協議を密にすること (3)広く市民の芸術・文化に対する意識の高揚に寄与すること を目的に設立し5周年を迎えました。現在の加盟団体数は、音楽部門26、美術・工芸部門31、舞踊部門11、生活文化部門13、演劇部門1の82団体です。現時点で参加者はありませんが、文芸部門や個人加盟にも門戸を開いています。加盟団体は年々増え、羽村市の文化活動が活発に行われていることが推測されます。

羽村市文化協会の主な活動は、次のとおりです。

(1)羽村市文化祭の主管事業
第38回（平成19年度）から主管として携わり、企画、実行、次年度へ反映するまとめを実施しています。今年度は第40回の記念すべき節目を迎え、〝観て、聴いて、体験して〟をテーマに、特別企画や多くの市民の方々に参加していただける体験教室やワークショップも設けています。（左ページ参照。詳細はパンフレットほかをご覧ください）

(2)協力・支援活動
行政や他の協会、団体への協力・共催の活動で、踊りを中心に「風のおわら」、「羽村夏祭り」や羽村市産業祭などに協力し、昨年は『はむらの第九演奏会』に音楽連盟が全面的に協力しました。年初には子供たちとのふれあいを大切にしてゆとろぎ主催の〝ゆとろぎで正月を〟に協力しています。

(3)自主企画事業
「羽村音楽祭」「羽村市美術・工芸展」「はむらの舞踊まつり」など文化協会が主催しています。また、将来を嘱望される若い人たちの音楽発表の場として、「サロンコンサート」をコーディネートしています。

(4)後援事業
加盟団体がホールでの発表や展示の発表をする場合、人的な支援後援をしています。

(5)指導・慰問
加盟団体または団体に所属する個人が、幼稚園、保育園、高齢者福祉施設への慰問や小中学校、青年学級やいこいの里及び企業などに教育支援を行っています。

将来の目標として、春の芸術祭の定着、児童・生徒（園児～小中学生）への芸術・文化の普及支援、近隣市町村との芸術・文化の交流、加盟団体の技能レベルの向上、未組織の文化団体の育成など、羽村市の芸術・文化の発展に邁進していく所存です。加入は随時行っております。皆様方の変わらぬご支援ご鞭撻をよろしくお願いいたします。

9月～12月のイベントガイド

※本欄に記載の事業は計画段階のものも含まれています。諸般の都合により、開催日を変更または取りやめることもあります。詳しくは「ゆとろぎイベントガイド」（毎月15日発行）あるいは「広報はむら」などをご参照ください。
※ゆとろぎは祝日を除く月曜日が休館日です。

（●＝羽村市教育委員会主催／◎＝羽村市文化協会主催・後援／◆＝羽村市教育委員会共催・市民の会協力／■＝その他）

	9月	10月	11月	12月
芸術鑑賞	◆9/26 国立音楽大学 ブラスオーケストラ演奏会	◆10/22 神津善行音楽文化講座　第1回 ロシア天才少年2名を招いて	◆11/19 神津善行音楽文化講座　第2回 ロシアマリインスキー歌劇団 所属歌手を招いて	◆12/16 神津善行音楽文化講座　第3回 歌手生活50周年を迎えた 菅原洋一さんを招いて
				12/23● 劇団プーク人形劇 『ちびっこカムのぼうけん』
			●11/26 宝くじ文化公演 グレン・ミラーオーケストラ	
	●9/13 子ども映画会	●10/4 子ども映画会	●11/15 子ども映画会	●12/13 子ども映画会
展示		●10/8～18 内城葉子 ボタニカル・アート展		
講座・教室	●9/5・12・10/4・11 お父さん・お母さんのための “楽しいデジタルビデオ入門”	■10/3 ASIMOが街にやってくる！	●10/18・11/22・12/19 撮った後も楽しもう！デジタルビデオ・DVD・写真活用入門	
	◆9/3・10・17・24・10/1・8・15（全7回） ココロに効くサプリ！ 現役ママが思わず笑顔になるココロのトレーニング		●11/10 『bloom』上映会&交流会	●11/12・26・12/10・24・1/14・28 楽しく創る短歌入門
	●9/27 ゆとろぎ市民の会 新会員募集説明会		●12/4・18 子育て中のお母さんのための講座 『絵付けでmy食器』	
その他		◎10/11 第20回サロン・コンサート リコーダーの調べ （小作ばれいしょアンサンブル）	■11/14 青少年健全育成の日	
		■10/18 ふれあい福祉まつり	●11/14・15 2009ゆとろぎ子どもフェスティバル	

第40回羽村市文化祭　日程　（詳細は羽村市文化協会が発行するプログラム、チラシあるいは「広報はむら」などでご確認ください）

展示の部	第1期（10月21日（水）～25日（日））	第2期（10月28日（水）～11月1日（日））	第3期（11月3日（火祝）～8日（日））
展示室	羽村墨友会／羽村水墨会／日本画　檀／花筏	羽村市書道連盟	白いキャンバス／アートフレンド／ラブリーアート
学習室1A・B	押し花グループ　四季の花	羽村短歌サークル／はむら民俗の会	彩光会／わかば
学習室2A・B	羽村連鶴の会	スネークジュニア	糸ぐるま洋裁教室
会議室	城山会盆景及び砿石画	文の会／創流水炎俳句会	パステル画教室フローラ
講座室1A・B	羽村市華道会	羽村市書道連盟	陶芸連絡会
創作室1	羽村篆刻同好会／羽村写経普門会	ニットサロン／編み物手芸クラブ	森のシャッター／フォト・まいまいず／写楽の友
創作室2	個人参加（5人）／青年学級 ふれんど	羽村市シルバー人材センター写交会	デジカメ同好会
創作室3	ワークショップ	ワークショップ	ワークショップ
和　室	羽村茶道会 (10/22・24)		羽村茶道会 (11/3)
2階廊下	千墨会		

	10月24日（土）	10月25日（日）	10月31日（土）	11月1日（日）	11月3日（火祝）	11月7日（土）	11月8日（日）
大ホール	羽村マジッククラブ	菊扇流	扇靖流大正琴	フェアリーバレエサークル	中之島流大正琴　琴知香会	コールひまわり	羽村大正琴・カトレア会
	鈴乃会	河藤流	庸吟会	カフラオ・ハワイ	エルムンドとフラメンコの仲間たち	フリューゲル子供会	The Merry Mellows
	京花流	松乃扇流	西吟会	ラウリイ・フラサークル	すみれ唄の会	童謡ドレミの会	羽村ハーモニカの会　赤とんぼ
		東流	羽村三曲会　箏・雅の会	スタジオ・アロハアインナノコ	よつば会（旧スズランの会）	はむら児童合唱団	羽村リコーダーアンサンブル
		藤恵流	三味線弥尾地会			コール樹樹	Jelly Beans
		舞の会				トトロの会	羽村市吹奏楽団
						コールせせらぎ	ジョイント演奏（午後発表団体）
						羽村グリークラブ	
						はむら女声コーラス	
						【体験講座】全員合唱（大井哲也氏）	
交流ひろば		西馬音内盆踊りを楽しむ会			シニア・フォークダンスの会		

特別企画

10月17日（土）	10月24日（土）	11月3日（火祝）
小中学校 音楽フェスティバル	映画会『山桜』（予定）	音楽の広場

ゆとろぎ通信
2009年9月1日発行（通巻14号）
Vol.6

発行■羽村市教育委員会
企画■羽村市生涯学習センターゆとろぎ
編集■ゆとろぎ協働事業運営市民の会
〒205-0003
羽村市緑ヶ丘1-11-5
☎042（570）0707
FAX042（570）6422
http://www.city.hamura.tokyo.jp

編集■江久保千英・関沢和代・長尾晃・日下田まや・平田栄一・平原克巳・福佐健二・藤原忠・古澤義隆・堀茂子・村山利夫・山本豊
羽村市生涯学習センターゆとろぎ
写真■平田栄一・村山利夫

印刷■不二オフセット（株）
〒190-1222
西多摩郡瑞穂町箱根ケ崎東松原5-7
☎042（556）1105

無断転載をお断りします。
Copyright ©2009 by YUTOROGI
All rights reserved.

「ゆとろぎクラブ」のコーナーはゆとろぎと市民のみなさんをつなぐ紙面スペースです。ゆとろぎの裏話やちょっとした話題をお伝えします。市民のみなさんからの投稿あるいは情報の提供も歓迎です。気軽にご応募ください。ご応募は、封書・はがき・FAX・メール (s706000@city.hamura.tokyo.jp) でゆとろぎまでお送りください。

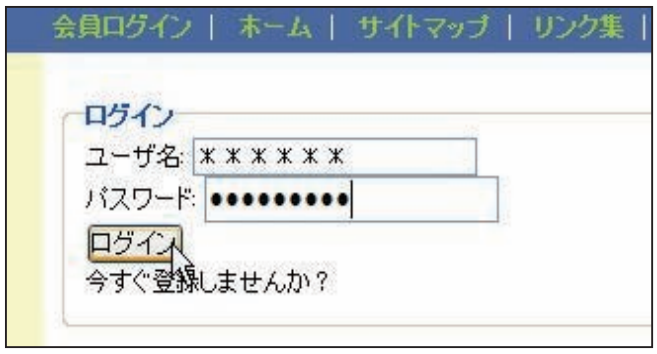
ゆとろぎクラブ

友の会のネット配信サービスが始まりました。

■ゆとろぎ通信 Vol.5 で概要のご紹介と予告をお伝えしました、ゆとろぎからの新しい無料サービスです。

①月刊イベントガイドの速報版を「ゆとろぎメールマガジン」でお届けしています（希望者には現行の「ゆとろぎ友の会通信」を並行してお届けします）。毎月 15 日発行の「イベントガイド」を印刷と同時にネット配信しますので、ゆとろぎの情報をより早くキャッチしていただけます。メールマガジンに記載された記事のリンクからゆとろぎサイトの詳細ページにジャンプできます。印刷、流通、保存、廃棄などの環境コストが低減できます。

②コミュニティーサイト（http://yutorogi.jp）をご利用いただけます。7 月から友の会ネット会員のみなさんに専用のパスワードをお伝えして、運用を開始しました。企画中の数ヶ月先のイベント情報などもご覧いただけますので、ゆとろぎの利用計画が立てやすくなります。また、ブログでは毎日の活動状況や裏話などを掲載しています。アルバムページでは一般公開していない写真や動画もご覧いただけます。そのほか、定期的にアンケートを実施しています。感想あるいはコメントを残していただければ、市民の会にとって反省や励みになります。ゆとろぎへのご意見やご要望もお待ちしています。



■計画中のサービス

・携帯電話サービス
将来、携帯電話でも同品質のサービスが受けられるように準備中です。さらにその先には、画像や音声を貼り付けることも考えています。

・友の会コミュニティーサイトを玄関にして、市内の生涯学習情報を提供するサービスを計画しています。また、ゆとろぎのイベントに参加する前に予習していただくことで期待と満足度を高められるよう、公演や講座に関連する詳しい情報を事前に提供できるようにします。

■ネット配信サービスを受けるには

・ゆとろぎ友の会入会時にメールアドレスを記入していただいた方は「自動的」にネット配信リストに登録されます。

・新らたに友の会に入会を希望される方は、下記のいずれかの方法でお申込みください。

＜直接窓口で＞
羽村市生涯学習センターゆとろぎ
〒 205-0003 東京都羽村市緑ヶ丘 1 － 11 － 5
☎ 042-570-0707　FAX042-570-6422

＜サイトから＞
http://yutorogi.jp/modules/formmail/index.php?id_form=3

＜メールで＞
mailto:tomonokai@hamura-tokyo.jp

ゆとろぎ市民の会 新会員募集説明会

ゆとろぎ協働事業運営市民の会（以下、ゆとろぎ市民の会）は、羽村市教育委員会がゆとろぎで主催するコンサートや演劇、美術展、学習・趣味の講座などを企画運営する市民ボランティアの組織です。2005 年に羽村市教育委員会の呼びかけに市民の有志が応えて発足し、2006 年 4 月の開館以来、さまざな企画を提案実現し、多くの方々に感動と喜びを提供しています。

ゆとろぎ市民の会には、
①コンサートや演劇を企画運営する「芸術鑑賞部会」
②美術展を企画運営する「展示部会」
③教養・趣味の講座を企画運営する「学習文化部会」
④イベント情報を編集発行する「情報発信部会」
の 4 つの部会を中心に、ゆとろぎで行われるさまざまなイベントを舞台裏で支援する
⑤一時保育の「さくらんぼ」
⑥大・小ホールにおける場内案内の「レセプショニスト」
⑦舞台の音響などを支援する「舞台操作」
などがあります。

今秋、ゆとろぎ市民の会は新会員を募集します。会員は、上記①から④の部会のいずれか（複数参加も可能）に所属して、それぞれの部会が管轄するイベント（事業）を企画運営していただきます。会員になるために特別な資格は必要ありません。年齢（基本的には 20 歳以上）、男女の差別もありません。強いて挙げるならば、ボランティアの熱意と好奇心と協調性があれば、どなたでも会員になることができます。

会員募集にあたって、市民の会の内容をよく知っていただくために、説明会を下記の通りに開催します（参加費無料）。興味のある方は是非ご出席ください。

開催日　9 月 27 日（日）
開催時間　14：00 ～ 16：00
会　場　ゆとろぎ講座室 1

＜問合せ＞
生涯学習センターゆとろぎ
☎ 042-570-0707
〒 205-0003　羽村市緑ヶ丘 1 － 11 － 5

【担当者のひとり言】

♧今さら背丈は伸びないけれど、人として成長することはできる。自分なりの精一杯で考え、学び、日々実践を積むことで。（えくぼ）

♠新しい事業が始まると、また新しい出会いがあります。素敵な人に出会えてシアワセ！です。（関沢）

♥選挙の夏。最近、選挙カーでの連呼を聞かない。唐突な「お願い」は、五月蠅いだけと思う。さて、どうなる？（ヒゲタ）

△現代人は自分の目で世界を知ることができるようになった。が、却って一面的な捉え方に陥りやすいのではないだろうか。すべてを知ることはできないにしても、多角的に検証する視点を持ち続けていたい。（ヒラタ）

■これまでの芸術鑑賞事業は、幸運にもいつも晴れ。ところが、過日の『羽村の風コンサート』は土砂降りの雨。お客さんは傘をさしてご来場。この傘どうしよう、どうしよう。お出掛けで受付でお預かりすることに。雨のとき、雪のときの対策をしっかり決めておかなければ……。日々、新しい発見と経験の積み重ねです。（平原）

♤今年の夏も異常でした。ゲリラ豪雨・竜巻・日照不足。地球温暖化の影響か。地球はどうなるのでしょう。（ふくさ）

♣市民の会で得したこと…わくわくテーマに出会え、自分なりのアイデアを忍びこませて皆に気に入ってもらえること。これを繰り返しながら自分が進化していけること。（藤原）

◇思い込みは間違いのもと。校正を繰り返しながら間違いに気がつかず、印刷屋さんから間違ってますー。さすが「傍目八目」。（古澤）

♡世紀の天文ショー。今年は見逃した！次回26年後らしい。今度は、絶対に観よう。（堀）

▼ドミニカ共和国でお会いした青年海外協力隊員の青柳さん。帰国されて休むまもなく、インド気ままな一人旅とか。わが青春もまた悔いなし！ご無事を祈ります。（村山）

◇最近、生涯学習とマイケル・ジャクソンの共通点の一つは、オンリーワン・唯我独尊であることを感じました。（山本）